



# 学校通信

令和5年9月 1日  
東京都立葛飾盲学校長  
岩下 桂郎  
(第6号)

始業式を迎えて

校長 岩下 桂郎

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行動制限のない夏となりましたが、台風による大変な被害や、新幹線の大幅な遅延などが報道されたりした夏となってしまいました。東京でも暑い日が続き、なかなか外出もままならなかったのではないのでしょうか。

教職員にとって夏休みは休養と同時に学びの時でもあります。先日寄宿舎の研修会があり、「余暇」について研究されている日本体育大学の野村一路先生のお話を聞く機会がありました。学校では、余暇の大切さについてはこれまでも「働く」こととともに進路指導などでとりあげてきましたが、「余暇能力」についてのお話を非常に興味深く聞かせていただきました。余暇を充実させるためには「余暇能力」の向上が必要で、その能力は、自主的、主体的な経験によって「育成される」ということでした。一方で、障害のある子供たちは自ら経験を広げることが難しいため、やりたいことができない「阻害要因」を分析し、必要な支援をしなければならないというお話をいただきました。確かに、好きな「外出」をしたくても、「一人で歩行する」が難しくれば「一緒に行く人」を探すことが必要です。逆に「一緒に行く人」がいれば、「一人歩行」は阻害要因になりません。「余暇」の満足は「生活」の満足に大きな影響を与えるということなので、必要な支援ができるよう積極的に取り組んでいきたいと思えます。

本日から2学期が始まりました。校舎内には元気な声が響いていますが、しばらく猛暑が続くということなので、屋外での活動や水泳指導を制限せざるを得ないことも予想されます。その際は、子供たちの健康のため、御了解ください。

## 「夏の開舎」

夏季休業中、4年ぶりに夏の開舎を行いました。8月1日(火)と23日(水)の2回とも、寄宿舎生、通学生と御家族の方々、介護等体験生など、多くの参加者で賑わいました。

午前中は、メロン・スイカ・かき氷チームに分かれて、『すごろく』『〇×クイズ&ボウリング』『縁日』を楽しんだり、全員で『はないちもんめ』や『じゃんけん列車』などで体を動かしたりして遊びました。午後は、職員有志やMusicBoxによる演奏会。素敵な演奏に合わせて歌を口ずさんだり、楽器でリズムをとったりしながら、思い思いに楽しみました。

詳しい様子はホームページに掲載します。

ぜひ御覧ください。(寄宿舎 亀村)

